

テーマ1

令和2年度第1回総合教育会議

地域の人づくりとつながり醸成

令和2年7月22日
生涯学習課

1 地域の現状と問題点

- 少子化、核家族化等により、**家庭内での教育力低下及び地域で子どもを育てる**という意識が薄くなっている。
- 急激な生活環境や社会変化により、価値観の多様化が進んでいる。
また、地域への関心や**相互のつながりが希薄化**している。
- 地域をとりまとめる**リーダー的存在の減少**、それを支える地域の既存組織の弱体化等により、**特定の人材に負担が集中**している。

指標	H27	H28	H29	H30	R元
市壮年連協会員数	1,534	1,269	1,373	797	758
市子連会員数	4,650	4,693	4,536	4,473	4,129
カレッジピア会員数	120	86	75	62	58
自治公民館加入世帯数・加入率	45,844 (64.6)	45,408 (65.2)	44,541 (63.7)	43,885 (62.4)	43,532 (61.7)

2 取組みの方向性

(1) 家庭教育の充実と地域子育て環境の育成

家庭内での教育を充実させるとともに、地域の社会活動への子どもの参加を促し、地域の一員としての意識づけを図る。また、地域住民も地域の人財として地域で育成する仕掛けづくりを目指す。

(2) 組織、団体の意識向上

既存慣習にとらわれない事業の見直し支援と各組織の連携を調整できる体制づくりを協議していく。

(3) 人材ネットワークの構築

地域の活性化のためには、リーダー的存在が不可欠であるが、強いリーダー性を備えた人材を発掘・育成するのはかなりの労力を要する。そのため、地域において人材の得意分野に特化した無理のない先導者(リーダー代役)を数多く発掘育成し、登録できるシステムを構築する。

3 今後の具体的取組み ①



家庭教育の充実、子どもの**地域活動への参加促進**及び**地域で子育てをする**という環境づくりを推進していく。

家庭教育学級の充実(学級の増加、内容の充実)



既存学校運営協議会組織の充実及び地域学校協働活動の推進

3 今後の具体的な取組み ②



個々の持つポテンシャルを引き出すことにより、**地域内組織の強化**及び**連携**を図る。

スキルアップ研修の実施



各地区まちづくり協議会との連携

4 まちづくり協議会との連携

各地区には「**まちづくり協議会**」が組織され、地域の**とりまとめ**的役割を担っている。

教育委員会としては、地域の人材のスキルアップ、団体の組織強化、地域交流の場の整備及び地域学校協働活動等の**地域の活力の部分**を支援していく。

各地区まちづくり協議会とは、地域内の人材情報の集約、調整等の**地域マネジメントの部分**で協働していきたい。

5 参考事例

(1)地域子育て環境の育成

地域の社会活動への子どもの参加を促し、**地域の一員としての意識づけ**を図る。

○おかげ祭りへの子どもの参加

- ・自分の役割、今すべきことを**自分の力で感じ行動**している。
- ・大人の行動を注視し、それを自分が実践できることに喜びを見いだしている。大人の所作への「**あこがれ**」。
- ・子どもの変化が大人の行動、責任感等に影響している。

(課題)

育成した子どもの社会の中での**活躍の場の創出**



5 参考事例

(2)組織・団体の意識向上、人材ネットワーク構築

人材の掘り起こし、整理、ネットワーク化を促進し、地域内組織の強化及び連携を図る。

○庄内地区まちづくり協議会

- ・公民館長、民生委員等の**経験者をリ
ストアップ**し、地区行事等で現役民
館長等の支援を実施
- ・地域内人材が定期的に地域住民向け
講演及び観光客向けガイド等を担当

(課題)

後継者育成

